

異型展伸材とは

異型展伸材とは異型ダイスにより抽伸(引き抜き)加工された棒(バー・ロッド)もしくは管(パイプ)の長尺素材の事です。押出加工と比べ、寸法精度が高いのが特徴です。

製作サイズ: 2 ~ 40(公差: ± 0.01 より)

曲がり: 10mm以下/L = 2,000(実績)

ねじれ: 45度以下/L = 2,000(実績)

角R: 最小角R0.15(実績)

面粗さ: Ra1.6以下

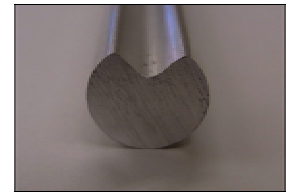
L寸: 直棒、直管状態で3,000mm迄、コイル材も対応可



ダイス(金型)形状によりさまざまな断面形状に仕上げる事が可能です。

断面形状につきましては事例紹介をご参照願います。

材質はアルミ、銅合金、各種非鉄金属材料に対応しております。



異型展伸材のメリットとは

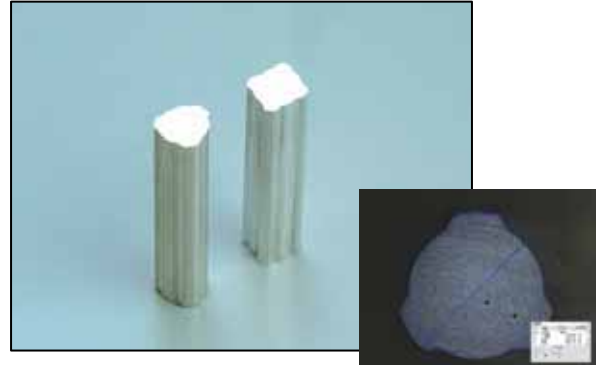
通常、丸棒から切削加工にて製品に仕上げますが、異型展伸材であればより製品に近い形状にあらかじめ加工済みですので、様々なコストメリットが出せます。

1. 外径切削不要(加工工程・時間の削減)
2. 歩留り改善・量産性の向上
3. 押出不可能の小径サイズから対応可能: 2 ~ 40
4. 少量から対応可能(ロット: 100kgより)



事例1 : Al異型引抜き棒

1. 用途: キャブレター用フロートバルブ
2. 寸法: 2.0 ~ 40.0 (公差 ± 0.01 より)
角R 0.2 ~ 0.4 面粗さRz3.2以下
3. ロット: 100kgより対応可能



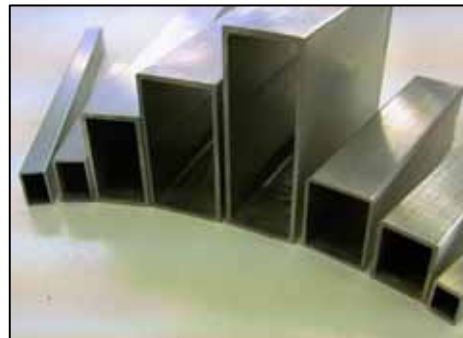
事例2 : Cu合金異型引抜き棒

1. 用途: コンプレッサー用ローターバー
2. 材質: アルミナ分散強化銅(耐熱合金)
3. 寸法: 37X16X2500
4. 精度: 断面寸法 ± 0.03 、角R0.2 ~



事例3 : 低膨張合金引抜き管

1. 用途: 光通信デバイス 気密端子
2. 材質: コパール(低膨張合金)
3. 寸法: 3.8X6.8Xt0.6 ~ 25X38Xt1.5
4. 精度: 断面寸法 ± 0.03 、角R0.15 ~



事例4 : Al合金異型引抜き管

1. 用途: ポータブルプレイヤー本体ケース
2. 5.4X43X1500
3. 精度: 断面寸法 ± 0.03 、角R0.2 ~

